

学校関係者評価委員会（令和8年1月27日開催）

アンケートの結果の概要（協議した項目のみ掲載）と、それに対する委員会のコメントは以下のとおりです。

学校より

【児童(5・6年)対象】

・学習指導について

「学ぶことが楽しい」に対して、(R6)85.7% (R7)76.8% と-8.9%の要因は年次の浅い教員を8名中5名配置だったためか。

・6年全国学力・学習状況調査「先生はあなたのことを認めてくれていますか」に対して、全国55%、東京都55%、本校72%

とても高い結果である。児童と教師との関係が良好であると見られる。

・キャリア教育について

「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある」に対して、(R6)64.7% (R7)77.3% と+12.6%の要因は5年生・6年生において、保護者による仕事講話をやった成果であろう。友達のお父さん、お母さんの生の声を聞く機会を通して、働くこと、仕事の内容に少しでも関心をもてたと思う。

「私は、なりたい自分をめざし努力をしている(R7改訂項目)」に対して、81.8%と80%を超えたのは、昨年度から、「なりたい自分になる」をキーワードにしてきてよかった。

・『本が好き』または『本を読むのは楽しい』に対して、(R6)67.0% (R7)61.7% と依然として、高まらない。

読書習慣、読書環境（図書する専用室がないこと）が継続的に課題になっている。保護者、地域の方々の協力を求めている。

【保護者対象】

全項目とも上がっている。

・キャリア教育について

「本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている」に対して、「わからない」が(R6)31.3% (R7)20.2%と依然と高い。保護者にとって不透明性があるのだろう。

・「本校の教育活動に満足している」に対して、「とても思う」「思う」に対して、(R6)85.2% (R7)88.9%と高評価をいただいている。

・「校長を始め教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる」に対して、「とても思う」「思う」で(R6)90.0% (R7)91.7%と高評価をいただいている。本校は電気代が比較的安く済んでいる。放課後、教員が各教室で事務作業せず、職員室に集まって仕事をしている状況があるからだろう。（照明代、エアコン代がかからない）

・「本校は、地域の活動に協力的である」に対して、「とても思う」「思う」で(R6)77.0% (R7)88.9%

とさらに高評価をいただいている。PTA やおやじの会が地域活動に大きくかかわっていることが理解されている。

- ・「本校は、子どものことを相談しやすい」に対して、「とても思う」「思う」で(R6)78.1% (R7)85.4% と+7.3%と高評価をいただいた。
- ・「学校は、安心・安全な学校づくりを進めている」に対して、「とても思う」「思う」で(R6)85.6% (R7)90.4%と上がった。今年度、救急搬送案件は現在0。2年前、西正門の通用門に電子錠が付いたことが大きい。

【地域対象】

- ・「学校からのお知らせやホームページなどにより、学校の様子が分かる(R7改訂項目)」に対して、「とても思う」「思う」で(R7)92.3%と高評価をいただいた。

【教員対象】

- ・「安全・危機管理がされている」に対して、「あまり思わない」「思わない」計2名回答
- ・「ライフ・ワーク・バランスを整えられるような環境が整えられている」に対して、「あまり思わない」「思わない」計5名回答
上項目においては、校長として、課題が続く。
- ・「子どもたちは、『あいさつ・返事・お礼の言葉』が身に付いている」に対して、「あまり思わない」12名回答
先生方が学級生活や学習指導中、子どもたちが、「あいさつ・返事・お礼の言葉」を言った時、どれだけ褒めているかの逆の課題である。
- ・「教科『日本語』のねらいを理解し、授業の充実に取り組んでいる」に対して、「あまり思わない」6名回答区として、教科「日本語」を今後どうするか課題である。
- ・「校長の経営方針は明確に示されている」に対して、「とても思う」「思う」の全員回答であった。一安心である。
- ・校長より学校行事について
近隣の学校では学校行事の縮減を図る中、運動会、学芸的行事、夏休みの水泳教室を校長より縮減しようとして先生方に発したところ、いい教育活動は残しましょうと多く意見が出た。
とど活プロジェクトとして、鉄道クイズ大会を数回行った。様々な趣味をもつ児童が生き生きと活動することができた。児童の発意・発想をもった活動をすることができ始めた。
ここ2年間行った「異学年スポーツ交流」は、令和8年度70周年記念式典等があるため、休止する。

【委員の皆様より】

○あいさつについて

- ・保護者が「子どもたちはすすんであいさつをしている」に対して、(R6)64.8% (R7)71.7%と上がったことや、児童「私は、あいさつをすすんでしている」(R7)81.9%と高いことに親近感がもてる。
- ・以前は、あいさつキャンペーンに参加していたが、今は高齢となり参加できていない。申し訳ない。
- ・子どもたちの接し方の違いがある。以前は、近所のお父さんにあいさつしない、と言われたり言ったりしたもんである。
- ・親同士の地域での接触がない。共働き家庭が多くなったからだろうか。
- ・先生方の温度差については理解した。過去には「ノーテレビ・ノーゲーム週間」を通して、家庭を感化したものだ。→現在も継続していることを説明→だったら、家庭でのあいさつ運動を推奨すべきでは。

○学びについて

- ・子どもの考える力の差が生じていることは理解できる。
- ・私立学校志向が強くなっているからだろう。塾に通う子が多くなり、子どもにとって勉強はさせられるものの感が強いのでは。
- ・学習指導に対して、年次の浅い先生が多くなっていることやタブレット型端末の活用移行等、教え方の端境期を迎えているのではないか。
- ・先生方が夜遅くまで頑張っていることは理解している。
- ・先生方のパフォーマンス性やエンターテインメント性、ジョークを挟むなどの資質が欲しい。

○キャリア教育について

- ・今年度取り組んだ保護者によるお仕事講話を継続してほしい。テーマを決めてもいいですね。

○児童の図書習慣・意識について

- ・今後益々、タブレット型端末の普及により、タブレット型端末を見る習慣と図書習慣とが偏っていくのだろう。
- ・保護者を含め、大人もしかり。出勤する電車車中で新聞を読んでいる大人はほとんどいない。
- ・等々力小の課題の一つとして、子どもたちが図書する専用の教室がないことである。施設改修を区へ提言したい。区長へのメールとかで。

○教科「日本語」について

- ・世田谷区の特徴の一つとして、教科「日本語」がある。この教科があることで世田谷区への転入を決めた保護者の一人である。逆に日本文化を外国語で表す活動等をしてはどうか。

○今後の学校の取組について

- ・昨今、教育活動として、やる事が多くなっていることは重々承知している。しかし、新しい取組を広げるより現在やっていることを煮詰めた方がいいのではないか。

【学校関係者評価委員会より】

○児童の学びについて（各教科・教科「日本語」・キャリア教育・図書・その他の視点）

児童が学ぶことを楽しいと感じているのはひとえに先生方の頑張りのおかげと考えるが、年次の浅い先生の増加、タブレット端末などを使った新しい形の授業への移行など、現在教え方の転換期にあると考えられ、先生方の教え方に関する情報共有などますます盛んにしていただきたい。

教科「日本語」を外国語(活動)で教える時間にすることで将来外国人とのコミュニケーションに役立つのではないかと考える。

保護者による仕事講話など身近な大人の話はキャリアについて自分ごととして考えるきっかけになると考えられ、目標に向けて努力する原動力にもなりうるので、継続していただきたい。

本好きな子供が少ないことは極めて問題と考えられるが、本校に図書室がないことも原因の一つと思われる。

通用門への電子錠の設置など安心・安全への対応も評価できる。

○児童のあいさつの態度について

児童のあいさつへの思い、保護者の児童のあいさつへの評価は高く親近感が持てる。あいさつは本来家庭で教えるものだが、あいさつキャンペーンで保護者や地域の方に指導いただいていることも関係しているのではないかと考える。

○今後の学校の取組について

昨今教育活動としてやるべきことが多くなっているようであるが、新しい取組を広げるより現在やっていることを深掘りした方がいいのではないかと考える。いい教育活動は残しましょうという先生方のご意見で、運動会、学芸的行事、夏休みの水泳教室を縮減せずに行っていることは極めて評価できる。とど活プロジェクトも楽しそうである。

また、夏まつりや冬まつりの開催、アドベンチャーイン多摩川への参加などPTAやおやじの会が主体となる行事への協力も児童の様子を見るに継続すべきと考える。

○読書環境について

本好きな子供が少ないことは先に述べたが、原因の一つとして本校に図書室がないことが考えられる。教室に図書を配置するなど先生方も努力されているが、そもそも図書室がないことが問題である。

他校で魅力的な図書室がつけられているとの情報に接し、学習環境の公平性という観点からも図書室設置を区に働きかけるべきである。

○地域連携

保護者のみならず町会など地域の方々にあいさつキャンペーン、周年行事など学校行事などでご協力いただいている。また、学校からのお知らせなどを通じて学校の様子を多くの地域の方々に理解していただいていることがわかる。

地域運営学校のあるべき姿と考えられ、ますますつながりを深めていただきたい。